

公開研究報告会（科学研究費助成「東アジア原産観賞植物の栽培化と野生化に関する保全生物学的研究」、雑草の福祉活用学術研究部会、照葉樹林文化研究会共催）

日時 2014年3月5日（水）

場所 東京農業大学世田谷キャンパス 1号館 621 教室

キーノート：観賞植物の栽培化と野生化：福祉活用と生物多様性影響をめぐって

13時00分～ 山口裕文（東京農業大学）

報告1：草原の植物と日本人ーヒトと自然の接点で起こったことー

13時40分～ 副島顕子（熊本大学自然科学研究科）

報告2：草甸植生要素ミヤコグサの集団構造

14時10分～ 三村真紀子（玉川大学農学部）

報告3：エキゾチック花資源か外来種か：鑑賞園芸植物アサガオ類の人為攪乱環境への侵入に関する保全生態遺伝学

14時40分～ 保田謙太郎（秋田県立大学フィールド教育）

報告4：河川付近に多いサクラと福建省のクスノキの巨木調査から

15時10分～ 鈴木貢次郎（東京農業大学）

報告5：東アジアにおけるタケ連植物の生物活用と人為伝播

15時40分～ 大野朋子（大阪府立大学生命環境科学研究科）

報告6：オヒシバにみられる温帯と熱帯への適応的進化と草引き耐性

16時10分～ 宮浦理恵（東京農業大学）

書誌報告：紀伊半島南部の住民生活にみられる植物文化多様性

16時40分～ 梅本信也（京都大学フィールド科学研）

どなたも自由に参加下さい（演題部分変更あり）。

報告会終了後、情報交流会を予定しています。

問い合わせ先 山口 h4yamagu@nodai.ac.jp

または宮浦 mia@nodai.ac.jp